

2014年12月17日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の安全情報(2014年37号)

海水浴に関する注意喚起

17日付当地グローボ紙のインターネットサイト・G1によれば、16日、南部地区のフラメンゴ海岸においてオスワルド・クルズ財団研究所が、ポタフォゴ海岸においてリオ連邦大学がそれぞれ水質検査を行った結果、いずれの海岸の水からも、スーパーバクテリア（KPC・薬品耐性菌）が検出されたとのことです。

1 KPCの検出場所

(1) 南部地区・フラメンゴ海岸

コヘア・ドゥトラ (CORREA DUTRA) 通り付近

(2) 南部地区・ポタフォゴ海岸

マルケス・デ・オリンダ (MARQUES DE OLINDA) 通り付近

※ ほかにもコパカバーナ、バハ・ダ・チジューカ海岸で検査が行われましたが、KPCは検出されませんでした。

2 海水浴に関する注意喚起

同サイトで、リオ州政府環境研究所は、

- KPCはもともとは病院施設にのみ生息するものであり、リオ市内のいずれかの病院が汚染水を排出した可能性があり、現在排出した可能性がある病院を調査中である。
- 同バクテリアは特に免疫力の弱い人に対して健康に重大な危険を及ぼすおそれがある。
- これらの海岸は海水浴には適さないので、指示に従い入浴は避けてほしい。として注意喚起しています。

【当館からのアドバイス】

☆ 検出されたバクテリアは、健康に危害を及ぼすおそれがあります。安全が確認されるまでの間、ポタフォゴ、フラメンゴ海岸での海水浴は避けましょう。(特に免疫力の弱いお年寄り、お子様は、健康に悪影響を受ける可能性が高いとの専門家の意見があります)